資料７

若者への COOL CHOICE の推進と若者を主体とした環境教育の実施をとおして、世界的な視野で地球温暖化（環境問題）を考え、防止活動を行える人材の育成

補助金申請額：499 万 9 千円

滝川市（地方自治体）

【目標】

第２次滝川市環境基本計画・地域行動計画（以下「環境基本計画」）において推進する市民運動『エコライフたきかわ』に国民運動「COOL CHOICE」の視点を踏まえ、市長が主体となり全市的な取組として推進する。

【取組テーマ】

① クールビズ
② ウォームビズ
③ エコドライブ
④ 公共交通機関の利用促進

インプット・アウトプット

（連携）
自動車学校

エコドライブ

短大生が主体となった環境教育の実施（地球温暖化防止活動普及大使の育成）

クールビズ
ウォームビズ
公共交通機関の利用促進

（連携）
環境財団
短大
エコ部！
市内高校生
国際ＮＰＯ
＆ＮＧＯ

取組の露出
（認知促進）

（連携）
地域メディア

記事体広告掲載①
内容）
地元新聞社を活用したＣＯＯＬ　ＣＨＯＩＣＥと低炭素ライフ実践に向けた情報発信をする。

記事体広告掲載②

内容）
北海道内で一番多く購読されている北海道新聞に特集記事を掲載することで、滝川市内だけではなく、周辺自治体にも COOL CHOICE の取り組みを周知する。

広告媒体の活用

車用ステッカー
内容）
ステッカー・・・市内タクシー会社、バス会社、公用車の車両に貼付

市内大手企業や公共施設等に組織として率先して取り組んでもらうことで、従業員はもちろん、各企業の取引先や関係機関にも COOL　CHOICE の取組を普及することが期待できる。

小学校との連携

COOL CHOICE でエコたき日記

市内小全小学校低学年（１～３年生）880 名を対象に、ぬり絵などをとおして COOL CHOICE とエコたきの取り組みを理解してもらう日記を夏休み・冬休み宿題の一環として配布する。
休み明けに提出された日記は、図書館に展示することで、市民運動「エコたき」の取り組みを市民へ周知する場として活用する。
なお、同時展示として、ウオームビズ、クールビズの展示も行う。

高校生が主体となった環境教育の実施

若者への環境教育の実施と地球温暖化防止を世界規模で考えられるグローバル人材の育成を同時に行う

学生や市民が環境問題を身近なものに感じ、自らの行動を考え直す機会の提供

① エコドライブ講習会の実施
内容）毎月行われる卒業式、メルマガを活用して講習会を開催

② 地球温暖化防止活動普及大使の育成
内容）
短大教職課程が北海道環境財団による環境学習プログラムを受講し、幼稚園児や小学生へ温暖化防止活動を推進する講師を養成。その後、子供達を対象に環境学習プログラムを実施。

③ 北海道環境財団による高校生への環境教育
内容）
文部科学省からスーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）に認定されている北海道滝川高等学校の科学部と平成２６年度に市内の子供達へ環境教育を行うことを目的に発足した「滝川市内高校生ボランティアチーム『エコ部！』」の生徒が、北海道環境財が実施する専門的な環境講座を受講し、高校生が児童センターなどで環境教育を実施する際に必要なノウハウを学ぶ。

④ 高校生による COOL　CHOICE と地球温暖化・持続可能なエネルギー講座
内容）
③で北海道環境財団から専門的な講座を事前に受講した高校生ボランティアチーム「エコ部！」と北海道滝川高等学校科学部が中心となって、夏休み中に市内６か所の児童センターで COOL CHOICE の取り組と地球温暖化、省エネ、自然エネルギーなどについて紙芝居などを活用し、子供達が楽しく学ぶ環境講座とペットボトルを活用したエコライトの製作体験講座を実施する。

⑤ STOP!!地球温暖化！！！COOL CHOICE で Warm BIZ～地産地消で Co2 削減～
内容）
滝川高校クッキング部の生徒が講師から滝川市の名産であるりんごを使った体を温める料理を習う。イベントは、市内のりんご園で行い、子供たちへ COOL　CHOICE の取り組み、地球温温暖化と自然保護に関する絵本読み聞かせ、りんご狩りなどを行った後に、高校生が先生となり、体が温まる料理の作り方を子供たちへ教える。

⑥ 環境市民大会
内容）
SSH 指定校の北海道滝川高等学校全校生徒８００名と保護者、國學院大學北海道短期大学部学生、一般市民を対象に、地球温暖化防止活動を行う専門家から、年々深刻化する温暖化の様子とその防止策、COOL CHOICE の取り組みなどについての話を伺う。
なお、本講演会では③、④で子供達への環境講座を行った高校生と北海道滝川高等学校で環境保全活動に取り組む生徒の報告会も同時に実施する。

⑦ 開西中学校での地球温暖化講演会＆ワークショップ
中学校２年生６０名を対象に地球温暖化の現状と COOL CHOICE の取り組みについて講演を行った後、生徒たちがグループに分かれ、自分たちで考えた地球温暖化防止策についてのアイディアを発表する。

アウトカム

波及効果

・自動車学校卒業生：100 名程度
・メルマガ登録者：1,000 名程度

波及効果

短大で小学校教諭免許習得を目指す学生が中心となって環境学習を学び、その後、自らが先生となって子どもたちに環境学習を行う。
学生が伝えることで自身の生活を振り返り、自ら考え、行動できる人材育成を行う。
また、将来教員を目指す学生を対象にすることで将来的に子どもたちへの環境教育促進に広がる可能性が十分に考えられる。

波及効果

次世代を担う高校生が、小学生が効果的かつ楽しみながら地球温暖化について学べるように環境教育を行う際に必要な正しい知識とテクニックを身に付ける。
講座受講や子供達へ教えるという活動をとおして、高校生自身も自らの行動を振り返り、自分自身で考え、人と地球に優しい行動できるようになることを目的とする。

波及効果

夏休み中に市内の児童センターに通う子ども達を対象に、太陽光とペットボトルを利用した「ペットエコライト」の工作教室や省エネルギーと地球温暖化、COOL CHOICE をテーマにした環境講座の実施を高校生が行うことで、小学生が環境に興味を持つことはもちろん、高校生との交流をとおして教わった知識が思い出として末永く心に残ることで、地球温暖化を常に心の隅に置き、自分たちが高校生になった時に、今度は小学生に指導する立場になるなど、次世代に続く波及効果が期待できる。

波及効果

市立図書館による「地球温暖化」、「自然保護」を題材にした絵本の読み聞かせ、保健センター栄養士による「地産地消と地球温暖化の関係」のお話などを行った後に、滝川高校クッキング部の生徒が中心となって、子供達へ滝川市の名産であるリンゴを使った「体をあたためる料理」講習会を行う。
子供達が地球温暖化や自然保護、地産地消の大切さを楽しみながら学ぶことはもちろん、先生役となる高校生自身も「教える」ことをとおして、学び、考え、行動する力を身に付けることが期待できる。

波及効果

異常気象、酸性雨、干ばつなど、地球温暖化が原因で世界各地で起こる深刻な問題について、実際にその解決に取り組む方々から話を伺うことで、教科書からは学ぶことができない生きた情報を知り、次世代を担う若者の環境保護に対する意識の啓発を行う。
また、本大会には、地球温暖化防止活動普及大使として活躍する國學院大學北海道短期大学部幼児・教育コース２年生並びに一般市民にも参加してもらい、普段は「他人事」として考えがちな世界の環境問題を身近に捉え、自分たちの普段の行動について考える機会を提供する。

波及効果

「エコスクール」に認定されている開西中学校２年生約５０名を対象に、COOL　CHOICE と地球温暖化、省エネに関する講義とワークショップを実施する。
受け身の講義だけではなく、ワークショップを同時に行うことで、自ら考える力、自分たちの意見をまとめる力を養い、将来的に地域の環境学習リーダーにつながる一助とする。